



# エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

2024年4月10日

環境大臣 伊藤 信太郎 殿

日新電機株式会社  
代表取締役社長 松下 芳弘

日新電機グループは、「社会と産業の基盤を支える企業活動を通じて、環境と調和し活力ある社会の実現に貢献する」という企業理念のもと「エコで地球にやさしい製品による技術革新への貢献」「地球環境問題への貢献」を重要課題に位置づけ、持続可能な社会の実現のため次の取り組みを推進します。

## 1. 低炭素社会の実現に向けた取り組みを積極的に推進します。

- ・ SBT 認定取得企業として、地球温暖化防止のため、2030 年度に 2018 年度比で 35%削減(Scope1+2)、30%削減(Scope3)に向けた取り組みを積極的に推進します。
- ・ 上記に加え、長期目標として 2050 年カーボンニュートラルを目指します。
- ・ 2021 年 3 月に「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」に賛同し、気候変動リスクと機会を開示しています。引き続き、サステナビリティに対する気候変動への取り組みについて、情報開示の質と量を充実させます。
- ・ 設備投資に対して社内炭素価格(インターナルカーボンプライシング:ICP)を設定し、温室効果ガス排出量の削減を積極的に促進します。
- ・ サプライチェーン全体での温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みを積極的に推進します。

## 2. 地球環境保全に配慮した製品の開発、サービスの提供を積極的に推進します。

- ・ 全ての新製品において、開発・設計段階で環境側面の評価を含んだ製品アセスメントを実施し、環境配慮製品(温室効果ガス排出量の低減率が 2000 年度比で 20%以上の製品を「エコ製品」、50%以上の製品を「スーパーエコ製品」と当社基準で定義)の普及拡大で環境負荷低減に貢献します。
- ・ 「グリーン調達ガイドライン」に基づき、製品含有化学物質管理の強化に向け積極的に取り組みます。
- ・ 化学物質一元管理システムを導入し、全社でデータを共有することで化学物質情報の管理を徹底します。
- ・ 環境汚染防止のため、化学物質排出量の削減を目指します。

## 3. 循環型社会形成に向けた取り組みを積極的に推進します。

- ・ 廃棄物削減の一環として、木くずの全廃ならびに有償化のシステム構築に向けて取り組みます。
- ・ 廃棄物リサイクル率向上のために、社員一人ひとりが産業廃棄物と有価物の分別徹底、焼却灰のリサイクル化を積極的に推進します。
- ・ ワークフロー改善と書類の電子化によるペーパーレス化を推進し、廃棄物の発生抑制に努めます。

## 4. 社員一人ひとりが環境保全活動の重要性を十分に理解して、積極的に取り組みます。

- ・ グループ・グローバルで環境教育を定期的実施するとともに、ボランティア活動等の社会貢献活動に積極的に取り組みます。
- ・ 学校や自治体への環境出前講座を開催し、環境保全の大切さを学べる機会を毎年継続して提供します。
- ・ ISO14001 規格に準拠し、環境マネジメント体制の強化を図るとともに、環境保全コストを監視し環境配慮型経営に取り組みます。

日新電機グループは、上記の取り組みの進捗状況を確認し、その結果をホームページなどで定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。